



平成25年7月9日
内閣府沖縄担当部局

平成25年度北部振興事業の実施について

1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、計画の熟度が高く、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

2. 今回配分の状況(国費ベース)

非公共事業
継続4事業
今回配分額 約6億円

公共事業
継続11事業
新規1事業
今回配分額 約25億円

(参考)

<予算計上>

沖縄北部連携促進特別振興事業費(非公共事業) 平成25年度予算額25億円
・補助率: 8/10

沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費(公共事業) 平成25年度予算額25億円
・補助率: 各公共事業の沖縄県の高上げされた高率の補助率を適用

<今回の配分の考え方>

沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。
配分対象の事業は、北部12市町村より北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

問い合わせ先

(全般・非公共事業)
政策統括官(沖縄政策担当)付
(担当 池田、藤田)
電話 03-3581-9752
FAX 03-3581-9761

(公共事業)
沖縄振興局参事官(特定事業担当)室
(担当 原、山田)
電話 03-3581-1366
FAX 03-3581-1683

資料

平成25年度に実施する振興事業について

平成25年7月9日

【1. 非公共事業】

産業の振興

事業名 (事業主体)	計画期間	25年度事業費 (うち国費)
やんばる観光連携推進事業 (北部広域市町村圏事務組合)	平成24年度 ~ 平成25年度	63百万円 (50百万円)
<p>平成24年度から「やんばる観光連携推進事業」を実施し、やんばる観光連携の現状と課題の整理、やんばる観光連携の在り方と必要施策を検討した。</p> <p>平成25年度は、広域的な観光連携体制を構築し、観光客が訪れたくなる効果的な観光素材の収集と共有の仕組みづくりと併せて、観光情報発信モデル実証事業を行う。また、平成26年度以降のやんばる観光連携推進事業の必要施策についてテーマ別、年度別実施計画を策定する。</p> <p>(担当省庁) 国土交通省(観光庁)</p>		

定住条件の整備

事業名 (事業主体)	計画期間	25年度事業費 (うち国費)
北部地域交通体系基本計画策定事業 (北部広域市町村圏事務組合)	平成24年度 ~ 平成25年度	21百万円 (17百万円)
<p>沖縄北部地域住民の移動や中南部地域から北部地域への流入交通及び観光客の移動を支える道路・公共交通環境は不十分であり、人口流出や中心市街地の空洞化、公共交通の衰退、地域間の格差等の諸問題が山積していることを受けて、平成24年度までに行った北部地域における交通実態調査をもとに将来交通予測等を行い、北部地域交通体系基本計画をとりまとめる。</p> <p>(担当省庁) 国土交通省</p>		

事業名 (事業主体)	計画期間	25年度事業費 (うち国費)
やんばるフットボールセンター整備事業 (金武町)	平成24年度 ~ 平成26年度	190百万円 (152百万円)
<p>金武町において、サッカー場及びクラブハウスからなるやんばるフットボールセンターを整備し、町内、北部地域の青少年や競技者の利用による技術力や体力の向上を図る。また、北部地域の既存施設と連携して、プロサッカーチームなどのキャンプ誘致、合宿の受け入れなどによるスポーツ交流を通じた産業の振興や定住条件の整備を図る。</p> <p>平成25年度は、造成工事を行う。</p> <p>(担当省庁) 文部科学省</p>		

事業名 (事業主体)	計画期間	25年度事業費 (うち国費)
宜野座村営野球場機能高度化事業 (宜野座村)	平成24年度 ~ 平成25年度	432百万円 (346百万円)
<p>宜野座村において、内外野スタンドの整備等宜野座村営野球場の機能高度化を行い、北部地域の他球場と連携したスポーツ活動を行い、青少年や村内競技者の技術力向上などの地域のスポーツ振興を図る。また、連携した大会の開催、キャンプ誘致、合宿の受け入れなどにより、産業の振興や交流人口の増加による定住条件の整備を図る。</p> <p>25年度は、内外野スタンド、ブルペン、防球ネット、メインスタンド屋根、打撃練習場を整備する。</p> <p>(担当省庁) 文部科学省</p>		

【 2 . 公共事業】

産業振興のための基盤整備（交通及び物流基盤の整備）

事業名 (事業主体)	計画期間	25年度事業費 (うち国費)	(参考) 予定総事業規模 (うち国費)
石川謝花線道路改築事業 (本部町) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	122百万円 (98百万円)	1,030百万円 (825百万円)
町道金武243号線道路整備事業 (金武町) (担当省庁 国土交通省)	平24～26	161百万円 (108百万円)	408百万円 (273百万円)
本部港本部地区港湾改修事業 (沖縄県) (担当省庁 国土交通省)	平24～28	1,247百万円 (1,122百万円)	4,600百万円 (4,140百万円)
仲田港港湾改修事業 (沖縄県) (担当省庁 国土交通省)	平24～25	100百万円 (90百万円)	128百万円 (115百万円)
野甫港港湾改修事業 (沖縄県) (担当省庁 国土交通省)	平24～25	101百万円 (90百万円)	111百万円 (99百万円)
<p>(事業概要)</p> <p>交通基盤については、観光等の産業振興を支えるインフラとして、交通の利便性の向上に資する道路を整備し、さらに、物流機能の向上に資する港湾整備に取り組むとともに、海上交通による本島・離島間の交通アクセスの改善を図る。</p>			

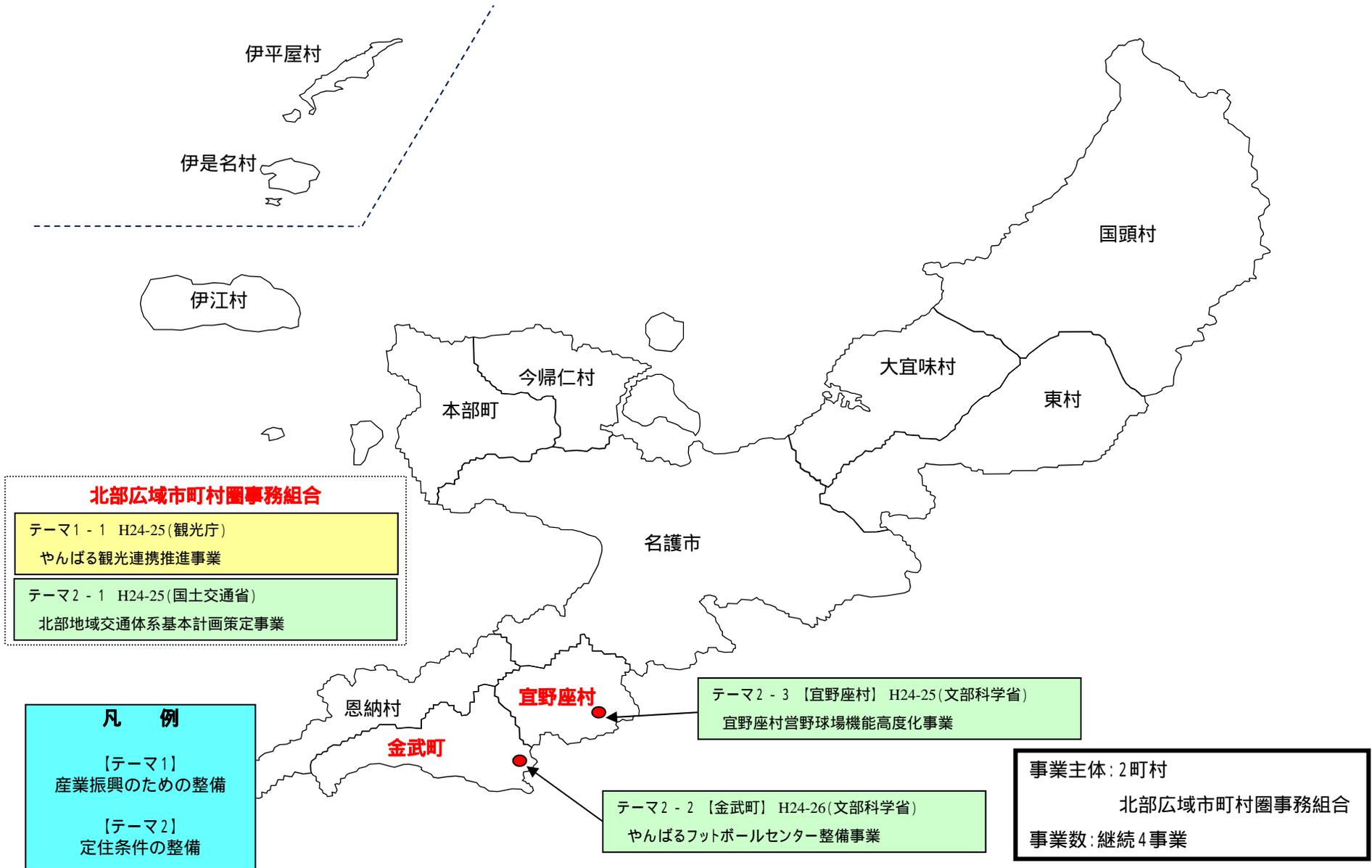
定住条件の整備（生活環境基盤等の整備）

事業名 （事業主体）	計画期間	25年度事業費 （うち国費）	（参考） 予定総事業規模 （うち国費）
為又1号線道路改築事業 （名護市） （担当省庁 国土交通省）	平24～28	118百万円 （95百万円）	741百万円 （594百万円）
北農線街路整備事業 （名護市） （担当省庁 国土交通省）	平24～28	105百万円 （84百万円）	510百万円 （408百万円）
山田原線街路整備事業 （名護市） （担当省庁 国土交通省）	平25～28	29百万円 （23百万円）	986百万円 （789百万円）
与那嶺諸志線道路改築事業 （今帰仁村） （担当省庁 国土交通省）	平24～28	179百万円 （144百万円）	565百万円 （453百万円）
安和第二市営住宅新築事業 （名護市） （担当省庁 国土交通省）	平24～25	372百万円 （261百万円）	458百万円 （309百万円）
村営辺土名団地建替事業 （国頭村） （担当省庁 国土交通省）	平24～25	413百万円 （287百万円）	460百万円 （320百万円）
仲田港海岸高潮対策事業 （沖縄県） （担当省庁 国土交通省）	平24～26	100百万円 （90百万円）	422百万円 （380百万円）
<p>（事業概要）</p> <p>北部地域への定住を促進するため、生活環境基盤の整備を推進し、生活の安全性、利便性及び快適性の向上を図るため、道路、住宅、海岸保全施設を整備する。</p>			

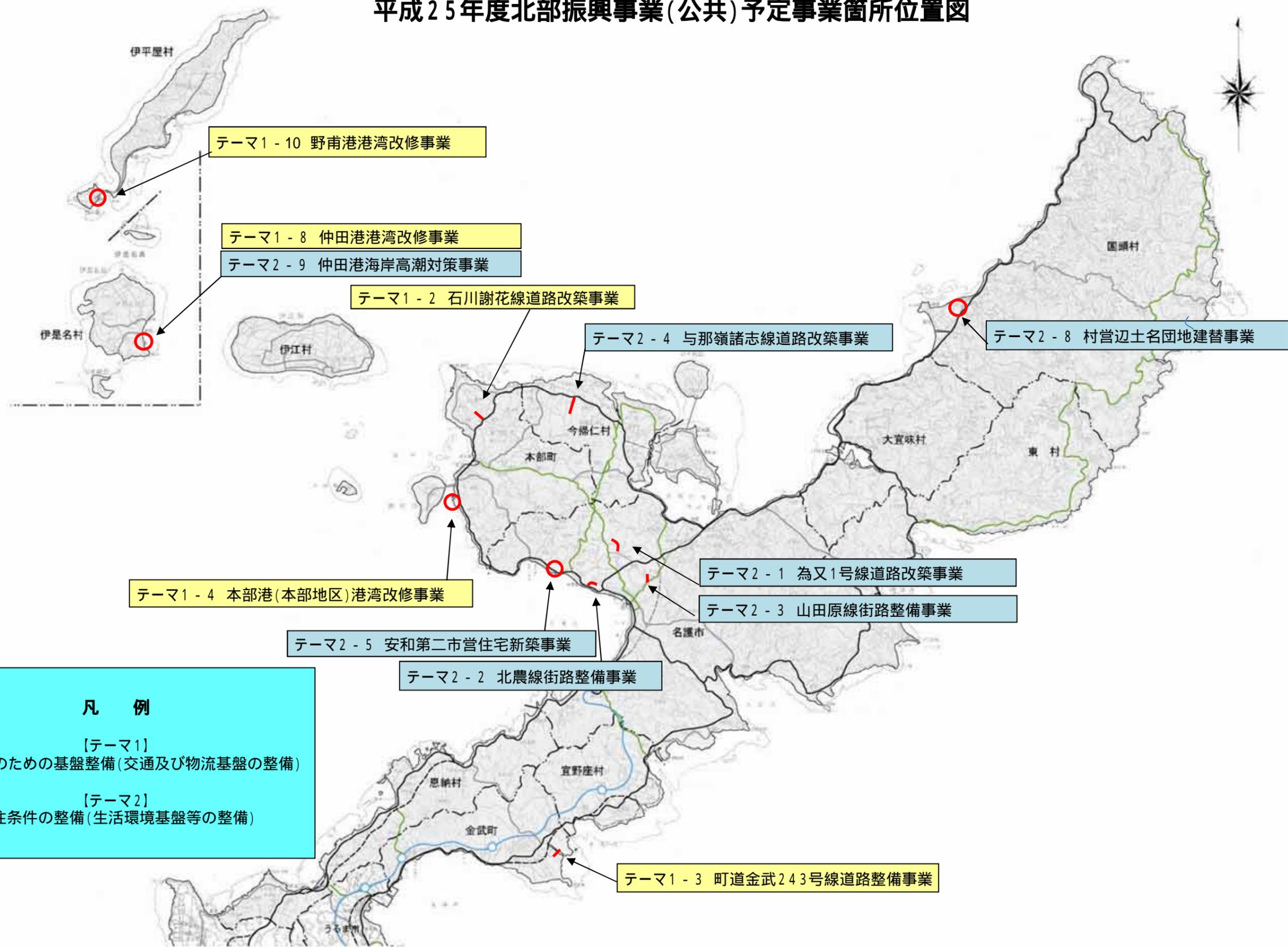
（注）

1. 平成25年度事業費は、今後事業を実施する過程で変動する場合がある。
2. 公共事業のうち、の事業については、特別会計の弾力条項閣議決定を必要とする事業である。（特別会計の経費を増額する必要がある場合には、「特別会計に関する法律」の規定により閣議を経る必要があり、弾力条項閣議とは当該閣議のことである。）

平成25年度北部振興事業(非公共)配分事業箇所位置図



平成25年度北部振興事業(公共) 予定事業箇所位置図



凡 例

【テーマ1】
産業振興のための基盤整備(交通及び物流基盤の整備)

【テーマ2】
定住条件の整備(生活環境基盤等の整備)